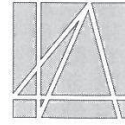


清流



No. 26

●発行 社会福祉法人 かなな会
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp



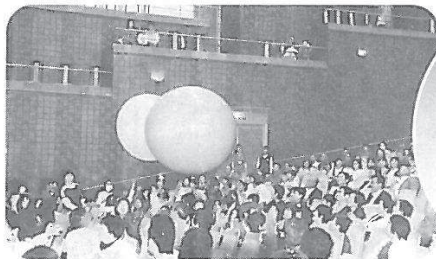
就任にあたって

理事長 小林 敏夫

この度、黒澤明彦前理事長の後任として六月一日より理事長に就任致しました小林でございます。黒澤前理事長は一〇年余りにわたり理事長職にあり、輝かしい実績を残してこられました。こうした功績を汚さぬよう微力ではありますが、誠心誠意尽力していく所存でございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、社会福祉法人「かなな会」も設立から一五年目を迎えました。お互いに助け合い、共に生きる精神のもとに家庭的な雰囲気ですべての職員がひとりでひとりが人として尊重されることを基本とする。という基本理念で取り組んでまいりました。この理念は共助、共生、人間尊重という大事な考えですから今後も堅持していきたいと思っております。

事が行われ、毎月職員会議も開かれています。また、それぞれの立場での職員の職能成長を図るための研修会も開催されています。これらを通して見られる施設の姿勢、職員の質・気概には驚きを感じます。即ち、職員の全てが利用者のひとりひとりに目を向け、親身になって暖かく対応している様子がうかがわれるのです。今後もこうした取組姿勢を大事にし、より質の高いサービスの提供に努めて欲しいと願っています。



ミラクルイルージョンサーカス (バルーン送り、オリジナルサーカスショー等)



ミュージカル「浦島太郎」

第13回 藤華祭

6/16

..... (かなな会 かなの里 平成24年4月～9月までの主なできごと)

- 4月 開所記念日、辞令交付式 (1日)
- しのめ信用金庫絵画展 (30日)
- 電話回線工事 (4日)
- 保護者総会 (21日)
- 5月 春季帰省 (25、26日)
- 大掃除 (3、5日)
- 市障害者スポーツ大会 (第一小、20日)
- 春の検診 (24日)
- 県知的障害者福祉協会総会 (22日)
- 第一回かなな会理事・評議員会 (29日)
- 第3者委員会 (29日)
- 6月 ハーベキュー (6日)
- 歯科検診 (7日)
- 第13回藤華祭(ミラクルイルージョンサーカス、16日)
- 避難訓練 (19日)
- 7月 桐生大生臨地実習 (4名)
- 耳鼻科検診 (26日)
- 区分認定更新始まる
- 8月 第14回かなな祭 (納涼祭、4日)
- 県指導監査 (7日)
- 夏季特別研修 (水上、9、10日)
- 夏季帰省 (12、16日)
- 居室、厨房消毒 (13、15日)
- 第一回救急法講習会 (17日)
- 県生命保険協会より「かれあい」愛の募金寄贈 (20日)
- 会議室工事
- 9月 福祉パレード (11日)
- ナイスハートフェア (11、14日)
- 一泊旅行 (25、26日)
- 県障害者スポーツ大会 (30日)



ナイスハートフェア (もくせい、かなの里、マロニエ)

かんなの里の旅行支援の取り組み

支援職員 飯島裕

一年の中でも一大イベントの旅行が穏やかに何事もなく楽しく過ごせるよう、職員がどの様に取り組んでいるか、まとめてみました。

(1) グループ、場所分け

個々の興味の観点や相性に依り、一泊、日帰り、大人数、少人数、一対一に分け、それぞれに合った行き先を選ぶ。

(2) 計画準備からかんなの里の生活に戻るまでのプラン

①一泊の団体バス旅行はこちらの希望を元に、旅行会社立下プランを立てて貰い、それから練り直す。

②10人以下の少人数グループは必ず下見する。経路、場所の内、外の確認。利用者の特徴を事前に説明し、写真は実際に使用する土産店、食堂、トイレ、宿泊場所など細かく撮影してくる。下見後、問題点を改善する。

(3) 提示物作成

マークは統一したもの、写真、文字でシンプルに。1日目、2日目に分け、個々に別々に提示する。特に初めての場所、新しい経験が

苦手なメンバーは慣れた宿泊場所を拠点とし、行き先を変えたりと細かく丁寧な配慮をし、パンフレット作りをする。なお職員用の行程表は別に作成し、利用者に間違った情報を提供しないようにする。

(4) 旅行中

職員が主体となり、バスの中を盛り上げるため、名ガイド役、カラオケの司会行く所のDVD鑑賞、タイズ大会等メニューが豊富。夜も定番の音楽療法、ボランティアとの交流タイムとか職員の変装大会とか、そして帰りは2日間の旅行のビデオを見て終了。



松井田 杜の家



足湯(磯部)



① 船ヶ丘コテージ (軽井沢)



河口湖(山梨)

(5)まとめ
旅行支援に取り組んで5年、年々より良い物になってきた。一人一人の顔が見える手作り旅行の支援を今後も続けていきたいと思えます。



ゲーム



路上詩人 オーシーさん

盆踊り



納涼祭 8/4



三杉太鼓と龍光さんのコラボレーション

開会



音楽クラブ

マロニエ

支援職員 生方 正吾

22年4月よりスタートして3年目の秋を迎えました。マロニエ1の隣に2を新築し、お互いに使い易くなりました。現在23名の利用者さんが通って来ています。

4月のカレーパーティー、6月のバーベキューは戸外での食事作りで、みんなが協力して、おいしい昼食となりました。特に神川町のかんなの湯隣接のバーベキュー場での焼き肉は格別でした。職員がごはんを炊いてきて、おにぎりにし、焼きおにぎりにして食べましたが、これも最高でした。保護者も多数参加してお手伝いして下さい、ありがとうございます。

9月からのグループ旅行もむさしの村、軽井沢、片品高原、サンリオ・ピュロランドなど、それぞれ希望の所を選んでもらい、楽しくってきました。これからも日々の作業はできることを増やし、社会経験も沢山積んでいきたいと思っています。



マロニエ4月～9月の主なできごと

4月・マロニエ保護者会総会(26日)

・カレーパーティー(30日)

6月・歯科検診(7日)

・藤華祭(16日)

7月・避難訓練(19日)

・バーベキュー(22日)

8月・お楽しみ昼食(4日)

・かな祭(4日)

9月・プール外出

・夏季休暇(11～15日)

・福祉パレード、ナイスハートフェア(11日)

・さくら祭りで販売(16日)

・日帰り旅行(10月)



① 軽井沢おもちゃ王国 (10/2)

① 片品遊楽木舎 (10/11)



① サンリオピューロランド (10/19)

もくせい

多機能型

(就労継続B16 就労移行6) 生活介護20

生活介護看護職員 関口奈緒美

もくせいの生活介護・生活班では、通所される利用者さんが楽しく充実した日中活動が過ごせることを基本に考え、日々の日課が健康的にかつ円滑に過ごしていただけるような支援を行っています。

その中で、外出計画や個別支援内容については、利用者さんやご父兄の意見を踏まえ、職員会議等の中で話し合い、実施しています。個人的には、看護職員としての職務に従事させていただき3年目になりますが、利用者さんの体調不良時の看護やケガなどが発生した時の処置、さらに必要に応じた通院の付き添いも行い、これらの業務を常に正確で迅速な対応が実践できるように心掛けております。また、日常的な健康管理や衛生管理の観点から、風邪などの疾病予防や感染症対策として手洗いやうがいの実施、施設内のアルコール消毒等に留意しております。

今後も身心共に癒される憩いの場として利用者さんに通所していただきたいように努めていきたいと思っております。



① 就労継続B16 (あいらじ)



生活介護 (ハラ園)

もくせい4月～9月の主なできごと

4月・保護者総会(11日)

・群作連総会(群馬県総合福祉センター、28日)

5月・藤岡市障害者スポーツ大会(藤岡第一小、20日)

・群馬県知的障害者福祉協会総会(群馬県総合福祉センター、22日)

・第三者委員会合合(29日)

・春季自然観察訓練(埼玉県さいたま市、30日)

6月・神流小学校2年生町探検(15日)

・藤華祭(16日)

・群作連第3ブロック職員研修会(下仁田町、27日)

7月・所内スポーツ大会(23日)

・藤岡・多野地域職員交流会(藤岡市シルバー人材センター、27日)

8月・かな祭(4日)

9月・市内中学生チャレンジウィー

障害者就業生活支援センター

トータス

所長 田沼 俊之

トータスは障害者の就職とそれに伴う生活の支援を行うセンターです。多野藤岡・甘楽富岡を主な担当地域として、平成20年5月より運営しています。

登録している障害者は、10月末日時点で289名であり身体47名・知的99名・精神137名・その他6名となっております。増え続ける登録者に対して、支援職員は4名(常勤3名・非常勤1名)と変わらず、多忙な日々を送っています。障害種別を問わずに支援してはいますが、各障害特性の理解をした上で、さらに各人の個性も尊重して対応しています。

これからも、関係機関とのネットワークを蜜にして障害者のQOL向上のため努力していきます。皆様ご協力よろしくお願ひします。

- ク受入れ(3～7日)
- 第39回福祉パレード(11日)
- あいらじレクリエーション(群馬アリーナ、21日)
- 秋季外泊施設研修(栃木県小山市、27・28日)

あじさい

世話人 角田 秀子

四月一日開所してから、早くも半年以上経ちました。周りの木々も紅葉の時期を迎えました。

最初は四人の利用でスタートしましたが、八月一日から神流町の新井さんが仲間に加わり、五人の利用者さんとなりました。

ごみ出しやおそうじなども皆で協力し、食事や風呂も時間や順番を守って、楽しく生活しています。月曜日から金曜日は、もくせいとマロニエで作業等がんばり、土曜日はヘルパーさんを利用して、プール、日帰り温泉、映画、ショッピングなどそれぞれに外出してきます。日曜日は、あじさいで布団干しなどしながら、ゆっくり過ごしています。

今年の夏は猛暑でしたが、全員体調も崩さず元気に乗り切れて良かったです。今後も皆で仲良く、がんばっていききたいと思います。



かりん

世話人 塩野 光枝

夏が終わらず暑い日が続いてきた十月下旬、上越線で渋川まで行き、駅から市バスに乗り換えて、伊香保温泉に行ってきました。

展望台に登り、赤城・榛名はもちろん、遠くは三国連峰まで見渡せる壮観な山の景色に、「わあ、きれい」と皆そろって歓声を上げて身も心も洗われる思いでした。足腰が悪く、でかけられないかと思いましたが、心配していたKさんが、「来られてよかった。」と涙ぐむ一場面もありました。

温泉に入り、ゆっくりと露天風呂・岩風呂と巡り、あたたまり、マッサージ器に座り、疲れたからだを十分休め、満足しました。

次は一番楽しみのランチです。順番にでてるごちそうを箸も置かず沢山食べました。

温泉と御馳走、年一回の旅行、来年も楽しみです。全員無事で家路に着くことができました。

相談支援事業所

計画相談が始まって

君野 文字

藤岡市では、新規に障害福祉サービスを利用する方と障害程度区分の更新をする方を対象として、八月から本格的にサービス等利用計画の作成がスタートしました。

心身の状態や現在の生活状況、希望する生活などをお伺いして利用計画案を作り、サービス担当者として共有すると、サービスの利用している個々の場面では見えなかったその人の生活の様子や希望を改めて認識することができ、自立した生活のためのより良い支援を考えるきっかけになったケースもありました。これは計画相談の利点の一つであると実感しています。

また、希望する生活、自立した生活を実現するための社会資源が不足している現実も同時に痛感しています。課題を自立支援協議会上げ、地域福祉の底上げを図っていききたいと思っています。

沢山の書意

あじさいがうめあそびます

(平成24.4.15・24.9.30) (順不同・敬称略)

金井 淀、藤岡支部ボランティア協議会、戸丸美恵子、室田貞子、藤岡市園芸協会、田沼 清、小保方勇、インターゾーン(株)、群馬生命保険協会

●県生命保険協会から、ふれあい愛の募金20万円頂



金守さん還暦祝い(5月)



近藤さん 玉入れ 81才でもがんばる 市スポーツ大会(5月)



避難訓練(6月)



藤岡市立東中学校生徒会より資源回収募金よりビデオカメラ2台寄贈されました。(10/31 藤樹祭にて)



高崎健康福祉大生 紙芝居居ランディア(8月)

編集(後)記

わが家の庭には、初夏からの百日草、盛夏からの千日紅が秋までずっと色あせることなく、元気に咲き続けています。百日草も千日紅も強い夏の日差しや高温多湿にもめげず、その名の通り、育てやすくたくましく、いつも朝の出勤時感心するやら、励まされるやら、私も元気になります。来年も種を播こうと思っています。(S)

